

令和 6 年 12 月 24 日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会

1 日 時 令和6年12月24日（火曜日）

午後1時30分から午後3時00分まで

2 場 所 さいわいプラザ6階 大会議室

3 出席者

教育長	金澤 俊道	委 員	鷲尾 達雄	委 員	大久保 真紀
委 員	廣川 佳予子	委 員	熊倉 達也		

4 欠席者

なし

5 職務のため出席した者

教育部長	竹内 正浩	子ども未来部長	星野 麻美
教育部参事（科学博物館長事務取扱）	金垣 孝二	教育総務課長	桜井 秀行
教育施設課長	吉田 朗	学務課長	大竹 美加
学校教育課長	中村 一幸	学校教育課部活動地域移行担当課長	石川 智雄
学校教育課主幹兼管理指導主事	玉木 暢	学校教育課主幹兼管理指導主事	佐々木 潤
学校教育課主幹兼管理指導主事	稲毛 真哉	中央図書館長	梅沢 一茂
子ども・子育て課長	深澤 寿幸	子ども家庭センター所長	大久保 千春
保育課長	江田 佳史		

6 事務のため出席した者

教育総務課長補佐	山内 清美	教育総務課庶務係長	今井 香
教育総務課庶務係主査	池田 伸克		

7 会議の経過

(金澤教育長) これより教育委員会 12 月定例会を開会します。

◇日程第 1 会議録署名委員について

(金澤教育長) 日程第 1 会議録署名委員の指名を行います。会議録署名委員については、長岡市教育委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定により、大久保委員及び廣川委員を指名します。

◇日程第 2 議案第 36 号 令和 7 年度当初予算の要求について

(金澤教育長) 日程第 2 議案第 36 号についてです。この内容及び報告事項の一つ目の事項につきましては、公表前の内容が含まれているため、非公開が適当ではないかと思いますが委員の皆様いかがでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(金澤教育長) では、非公開にいたしますので、関係者以外は退席してください。

—会議規則第 20 条第 2 項の規定により公表しない—

(金澤教育長) 次に、報告事項の 2 点目、12 月議会における教育委員会関係の質問事項について事務局の説明をお願いします。

(竹内教育部長) 12 月議会における教育委員会関係の質問事項について、事前に皆様に送付させていただきました。この場では、詳細な説明を省略いたしますが、御質問・御質疑がありましたらお願いします。また、この場でなくとも、御質問・御意見がありましたら、各担当課または教育総務課に御連絡いただくようお願いします。

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(鷲尾委員) 公立保育園とこども園で、保護者が結果的に私立を選んでいる、選択肢があって選ぶ理由があるほうを選んでいる。一方、この地域では学校教育において主に公立の小中学校しかないですね。義務教育においても大都市圏では、私立の小中学校など選択肢があるため、私立を選ぶ方がいます。長岡市においてはほとんど選択肢が無いので、安住ができるかと思いますが、私立の学校ができた想定して、公立の小中学校は、どの様に対抗していくのか、子どもたちが公立学校に通うようにするには何が重要であるとお考えですか。

(玉木学校教育課主幹兼管理指導主事) 柏崎市は中等教育学校があるため、学級が一学年 3 クラスあったはずが 2 クラスになるなどの現状がありました。それにより、公立学校の教員の配置が二人も減る現状に、これは負けていられないと、説明会で学校の素晴らしさをアピールして、しっかりと学区の公立学校を選んでいただきたいという思いで話をしてきました。地域と連携した特別活動や、我が校はこうにして子どもたちの心を育て、

また、勉強にも力をいれている、人間教育にも力を入れてくことが大切だと考えて教育に取り組んでいることなど、学校教育において大事なことを校長が説明できること、学校の特色をいかにアピールできるかだと思います。

(佐々木学校教育課主幹兼指導主事) 新潟県には新潟大学等の附属小学校が3校あります。私は上越市で上越教育大附属小学校にいました。教育熱心なお家の方はお子さんを附属小学校に入れることがステータスのようであると感じることもありました。実際に働いてみて分かったことは、色々な地区から色々な子どもが通って来るので、地域性が無いために、色々な所から情報を集めて特殊な教育活動をしないと、成果がなかなかでないこともありました。基本的なことも大切ですが、一番大事なことは地域だと思います。それぞれの地域の特性を活かして、どのような教育活動をするか、子どもたちが地域の一員としてどんな学びをしていくのかをしっかりと培っていくことが大事であると思います。地域の力を活かしながら学んでいける環境を整えることで、私立にも負けない教育環境を作ることができると思います。

(稲毛学校教育課主幹兼管理指導主事) 市立・私立とありますが、校長先生の中には、ある程度制度をゆるくして、もっと通いたい学校にして来てもらうといいのではと考えている方もおり、そうすることで適性が図れるのではという考えをお持ちの方もいます。長岡市のどの地域の子どもたちにも質の高い教育を提供することが大事であり、必須だと思います。少子化によって、長岡市として質の高い教育を受けさせるための研修を実施したり、特色のある学校作りを展開していくことが大切だと考えます。教員の質をあげることや働きやすさなどの環境を整え、力のある教員が育つように努めることが市教委としての責務だと思います。

(鷲尾委員) 参考までに、マイナビの調査で、新潟県の女子学生で県外に進学したお子さんで、就職で地元に戻ってきたいという希望者の割合が新潟県は25%を切っているとのことです。群馬県や長野県は低いところで50%、富山県においては70%ということで、統計学的に意味のある数字かは確かではないため鵜呑みにして良いか分かりませんが、少子化の問題もさることながら、若者たちが地元に戻ってくるために重要なのは、小学校・中学校の時に先生方とどのような関わり方をしたのかなどもすごく大きな要素になっていると思いました。

(熊倉委員) 一般質問で、桑原議員が校則について聞かれていましたが、中学校の校則についてどのような問題意識を持っているのか、現状把握について教えてください。

(中村学校教育課長) 桑原議員は、校則についてはあまり縛らない方が良いという持論があり、時代に合わせて校則は変えて行かなければいけないというお考えです。令和2年に、校則が時代に合わせて変わっていったのかを一般質問で質問されました。また、制服についてもお考えがあり、女子生徒がスラックスを履けないような校則が残っているのではという確認を含めた主旨の質問でした。それについては記載のとおり、各学校は令和2年以降に校則の改正をしています。女子生徒がスラックスを履くことについて禁止し

ている学校はないということをお答えしました。

(熊倉委員) 私の感覚的には、市内の中学校は、全て生徒会と共に校則を作っており、批判される筋合いはないと考えていました。議員が校則について問題意識があることでの質問をされたということでしょうか。

(中村学校教育課長) 女子生徒がスラックスを履けないという校則はないということは事前に説明をさせていただきましたが、皆さんに広く校則について知っていただきたいとの思いで質問をされたという経緯です。

(金澤教育長) 生徒会が校則研究委員会を立ち上げて、子どもたちを中心に積極的に校則の見直しをしている学校に、桑原議員の娘さんが通っていたこともあり校則について関心があったのだと思います。

(鷲尾委員) 「明日の東中を考える会」の校則検討会に、評議員として参加させていただいたことがあります。その際、前髪の長さを規定するなどの校則について、なぜ規定が必要なのかという子どもたちの意見に先生側が戸惑っている感じが、生徒と向き合えていない感じがしました。私見ですが、議論は形式的な感じがしました。

(金澤教育長) 他に御質疑はありませんか。

(金澤教育長) 御質疑、御意見なしと認めます。

(金澤教育長) 次に、附属機関等会議報告に移ります。まず、第3回長岡市文化財保存活用地域計画策定協議会について事務局の説明をお願いします。

(金垣教育部参事) 第3回長岡市文化財保存活用地域計画策定協議会の報告をします。会議内容については、文化財の保存活用に関するアンケートについてなど三点です。委員から出された主な意見・質問については資料の項番4に記載のとおりです。「文化財の保存・活用に関するアンケート回答結果」については、文化財についてももう少し詳しく分析してほしいという意見をいただきました。対象は指定文化財であり、所有者ごとに回答をいただいています。種類ごとの傾向を把握することもできることから、クロス集計については今後検討していくとお答えしました。なお、アンケートから、長岡市指定文化財が取り巻く環境について、非常に厳しいことは再認されています。緊急的な案件には、計画的に取り組む必要があると考えています。文化財保存活用の課題・方針・措置については、それぞれの課題、方針の内容によって、措置の取組主体（担当）が異なるので整理をお願いしたいという意見があり、具体的には行政だけではなく市民団体を交えてしっかりと取り組んで欲しいということ、また、行政については、担当課をしっかりと明確にして欲しいとの御意見でした。今後は庁内ワーキングを開き、担当課についても検討し整理したいと考えています。

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(金澤教育長) 御質疑、御意見なしと認めます。

(金澤教育長) 次に、令和6年度 第3回長岡市子ども・子育て会議報告について 事務局の説明をお願いします。

(深澤子ども・子育て課長) 令和6年度 第3回長岡市子ども・子育て会議の結果を報告します。12月16日に委員16名とアドバイザーの新潟県立大学・小池教授に参加いただき開催しました。会議議題は「長岡市子ども計画（仮称）」の素案について議論いただきました。主な意見としては、計画の名称や市民協働など本市の特徴長岡らしさが出せないかという御意見のほか、今後の施策の基礎データとなる施設等の見込みに関する質問を委員からいただきました。最後に、小池アドバイザーから全体を踏まえての総評をいただきました。

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(金澤教育長) 御質疑、御意見なしと認めます。

(金澤教育長) 続いて、協議事項です。

(金澤教育長) 市教育委員会定例会会議録記載の変更及びホームページレイアウトの変更について 事務局の説明をお願いします。

(桜井教育総務課長) 市教育委員会定例会会議録記載の変更及びホームページレイアウトの変更について説明します。まず、経緯についてですが、現在、定例会会議録の作成にあたっては、すべての発言を文字起こししているため、ホームページへの公開までに約2～3か月を要しています。そのため、ホームページへの公開までの期間を短縮し、市民サービス向上を図るとともに、議事録作成に係る事務の軽減を図りたいと考えています。変更点としては、定例会会議録記載方法の変更です。議案、協議報告事項、催し案内について、これまでは説明内容も全て文字起こしをしていましたが、事務局からの各資料の説明は「＜資料に基づき説明＞」と記載し、説明に対する質疑・意見、また、それらへの事務局の回答は全文を記載することとしたいと考えています。次に、定例会会議録の市ホームページのレイアウトの変更についてですが、今までは、議事録にて説明内容も全て文字起こしをしていたことから、ホームページにおいて会議資料の掲載をしていませんでしたが、会議録において事務局説明を「＜資料に基づき説明＞」と記載することで、非公開案件を除き、議案等の各資料を公開します。なお、非公開案件については、「※非公開」と表記するほか、時期が到来することで公開できる案件には、「※■月市議会提出後公開」など并表示します。また、現在、会議録ホームページと会議録は同時に公開していますが、今後は、ホームページを先行して公開し、会議録は作成次第公開したいと考えています。最後に、変更は、令和7年1月教育委員会定例会議事録から実施したいと考えています。

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(金澤教育長) 御質疑、御意見なしと認めます。

(金澤教育長) これをもちまして、協議・報告事項を終了します。

(金澤教育長) それでは次に、催し案内等について説明願います。

(大竹学務課長) 全国学校給食週間における長岡市の取組について、給食記念日の1月24日の前後約1週間に、市内公立小中総合支援学校で行います。「行ってみたい♪旅先グルメ第3弾～北陸新幹線でめぐろう給食の旅～」をテーマに、新潟、富山、石川、福井の郷土料理や名物料理を参考にした献立を市内学校栄養教職員が9種類の献立を考案しました。各学校で9種類の献立を取り入れた給食を提供します。

(金垣教育部参事) 科学博物館では、2025年の干支にちなんだ生き物を展示します。毎年恒例の干支に関わる生き物展示で、今年は巳年にちなんでヘビギンボとシマウミヘビを展示します。

(大久保子ども家庭センター所長) 「親子支援～家族とともに子どもの成長を見守っていくために」を、長岡市の「子どもの発達支援検討プロジェクト」のアドバイザーであり長岡市赤十字病院小児科医師の田中篤氏を講師に招き、園・学校職員等支援者向けの研修会として長岡市立劇場で1月25日に開催します。

(金澤教育長) これをもちまして本日の定例会は閉会します。

(金澤教育長) ありがとうございました。

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会教育長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員